

日曜日礼拝順序

憩いの場

2020年1月19日 午前11時 南部チャペル

“神の御心の時に”

前奏		鈴木義兄
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
讃美	賛美歌9番 “ちからの主をほめたたえまつれ”	
祈り		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		一同
	マタイによる福音書7章1-5節	
讃美	賛美歌217番 “あまつましみず ながれきて”	
説教	“幸いへの道 3”	Scroggins 由紀牧師
讃美	賛美歌2編184番 “神はひとり子を”	
献金		下竹祐三郎兄
報告		
頌栄	541	
祝祷		Scroggins 由紀牧師
後奏		鈴木義兄

(礼拝終了:奉仕開始)

交わりの時 礼拝後

光の会 午前9時45分

“朝のうちに種をまけ。夕まで手を休めてはならない。実るのは、これであるか、あれであるか、あるいは二つとも良いのであるか、あなたは知らないからである。” (伝道の書11章6節)

日本人は農業をするときに、とても丁寧に畑を耕したり、稲を植えるときも田植えを一本一本しますが、中東など、ほかの国々では、種まきもかなり大雑把なようで、種をばらまく、といった表現がびつたりのようなやり方をするそうです。しかし、その中でも、ちゃんと芽を出す種もあるからこそ、収穫に導かれるのですが、こういったおおまかな方法は、土地が肥沃であるからこそできる方法かもしれません。この種まきの方法は聖書の中では、よく、神のみ言葉を伝えるものを種をまく者として、受け入れる土壌の種類を聞き手の性質としての二つに分けて考えられています。興味深いのは、種をまく者の責任は、種をまくことだけであり、田植えのように植え替えたりすることはないので、あとは土地の性質と神に任せる、という姿勢がつかぬかえているところです。伝道の書において、ソロモンは、朝から夕まで種をまき続けるように、それは、どの種が実るのか、私たちが知らないからである、と述べています。神の知恵を授かったソロモンでさえ、私たちが、神の御業をみきわめることができない、つまり、結果を私たちがコントロールできない、と教えています(伝道の書3章11節)。物事の結果は神の御手にあると考えた時、私たちは努力し続ける意味と結果を切り離し、神の御前に感謝をもって、謙虚に生きることができるのではないのでしょうか。私たちが今年もたゆまず、主に仕え、種をまき続けることができますように、そして、私たちの思うところをはるかに超えて、豊かに施してください。神の御業を知ることができますように、お祈りしています。

(Yuki Scroggins)

記事: 消息

— 陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、下竹寛子姉、Chieko Dano 姉、教会のビルディングマネージャーの Steve Pelc 兄など、主の癒しを必要とされてる方々のためにお祈りください。

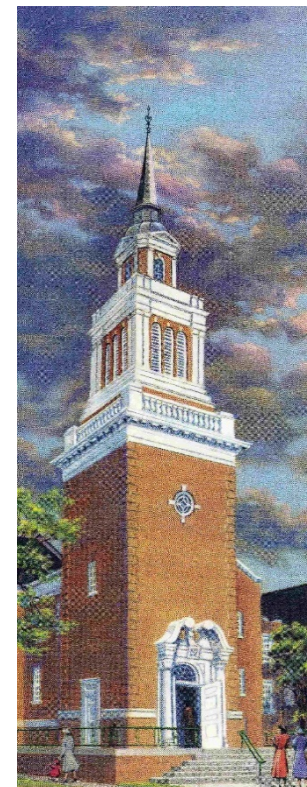
お知らせ

— 2月9日は恒例の癒しの合同礼拝が午前10時からあり、その後、ポットラックランチが行われます。教会側がメインの肉料理を用意しますので、それぞれ、サラダなどのサイドディッシュをお持ちください。

— 2月16日は Chicago History Museum において、午後1時30分より日系アメリカ人の収容所体験を覚える Day of Remembrance のイベント があります。今年は30分ほどの映画上映の後、質疑応答があるそうです。どうぞご参加ください。

今週の讚美 : Be Thou My Vision

https://www.youtube.com/watch?v=6CMcILT_Hjg



週報

第3754号

2020年1月19日

発行: 2020年1月15日ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: www.northshorebaptist.org